

2011年度

科目名	基礎ゼミ I		
担当教員	宇都宮 啓吾		
配当	日文2	コード	34004
開期	前期	講時	水曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	現代日本語表現について考える		
目的と概要	現在の我々が使っている日本語についてもう一度考え直すことを目指します。我々がどのように言葉を使っているのか、自分なりに説明できるようになってください。		
成績評価法	平常点(40%)と課題提出・課題への取り組み方(60%)で総合的に評価します。(演習発表を行わないことは、本科目の放棄と見なします。また、一定の基準達しない場合には、発表のやり直しもあり得ます。)		
テキスト	特に指定しません。適宜、プリントを配布します。		
参考書	特に指定しません。適宜、紹介します。		
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	準備学習(時間外学習):演習という形態上、発表に向けての準備は常に行なうこと。また、講義中に指示した課題を次の時間までに解決しておくこと。		
講義計画			
<p>演習形式をとります。最初の数時間については、教員の側で日本語を考える上での視点をいくつか紹介し、それに沿う形で講義と発表を行ないます。その後で、みなさんの演習発表へと移ります。発表については、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、問題提起 2、問題解決の方法 3、問題解決の手続き 4、結論 <p>という形で発表を望みますが、まずは、自分の考えを「ことば」にするところから始めてください。失敗も成功への第一歩。とにかく、「考える」ことを習慣づけてください。</p> <p>導入 1 オリエンテーション演習計画の説明・打合せ</p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p>事前指導 2 国語学研究法語彙(意味・用法)位相差(世代や性差) 日本語の変化(資料の用い方)</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 日本語の変化(資料の用い方) 4 日本語の変化(資料の用い方) <p style="text-align: center;">=====</p> <p>演習 5 具体的発表学生による個別発表</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 具体的発表学生による個別発表 7 具体的発表学生による個別発表 8 具体的発表学生による個別発表 9 具体的発表学生による個別発表 10 具体的発表学生による個別発表 11 具体的発表学生による個別発表 12 具体的発表学生による個別発表 13 具体的発表学生による個別発表 14 具体的発表学生による個別発表 <p style="text-align: center;">=====</p> <p>まとめ 15 本演習の総括全体の纏め今後の研究への発展</p>			